

9期 知らなかった あんな話 こんな話 科

～そして生きがい再発見～

日時： 令和 4年 1月13日

場所： 豊中市地域共生センター

学習テーマ：「明治期の英国に柔道を根づかせた 上西 貞一」 第20回講座

講師： 橋本 順光 先生 (大阪大学大学院文学研究科教授)

内容 世界に広まった最初の武術が柔道

①はじめに 英国人女性の護身術として柔術流行

英国映画 *Suffragette*、邦題「未来を花束にして」(2015)の紹介

サフラジェットとは、英国で婦人参政権を求めた運動家で、警官から身を守るための柔術を教える

②19世紀末の英国で柔術が紹介され、見世物として人気に

・嘉納治五郎・・・柔術を柔道に「柔術あるいは素手で戦う武士の技術」(1888)をロンドンで講演。「柔術の原則は、力に力に対抗するのではなく、力に身を任せることで勝利を手にするにある」

・ラフカディオ・ハーンが「東の国から」(1895)で柔術を詳しく紹介

《柔よく剛を制す》について説明、柔術は、相手の力を利用する事で勝利する方法

・エドワード・ウィリアム・バートン＝ライトがバートンの柔術

「洋服を着ていても可能な護身術」としてバーティツを創始

・柔術のインストラクターとして日本から、谷幸雄と上西貞一をロンドンへ招く
二人はプロの柔術家として英国で生活する。

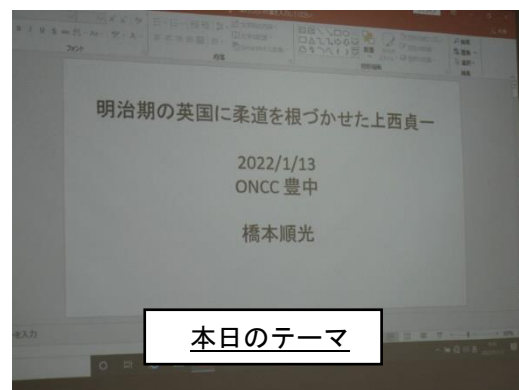
③日露戦争により武士道と柔術が再評価され、流行(1905～)

・新渡戸稲造「武士道」(1899) 岡倉覚三(天心)「茶の本」(1906)

・ロバート・ベーデン＝パウエル ボーイスカウト運動の創始者で上西の柔術に感心する

・「スカウティング・フォア・ボーイズ」(1908)で「毎朝毎夕の柔術の運動」を推奨。「握ったり押えたりすることを知り、筋肉を鍛えるために」最適と評価

・上西、女性の護身術として柔術を教える「ディリーミラー」1904年4月4日号
上西の柔術教本「柔術の教科書」(1906)ロングセラーに



・上西の弟子 イーディス・ガラッド 女性に護身術として柔術を教え、有名になる。

4. 英領インドでの柔術の流行とガンジーの 非暴力運動、
柔術をめぐる対照的な評価

- ・ タゴール・・・ インドの自分の学園で柔術の教師を招き、
授業に取り入れる
- ・ ガンジー・・・ サフラジェットの運動をロンドンで見て、
デモも柔術も無力と実感し非暴力運動をすすめる。
- ・ アメリカの思想家・運動家のリチャード・グレッグ、
「ガンジーの非暴力的抵抗の心理と戦略」(1929)



左谷幸雄と右上西貞一 バートンの護身術

ガンジーの非暴力運動を「精神的な柔術」と説明し、上西の「柔術の教科書」から引用

○上西貞一の柔術は

- ・ イギリスの女性の地位向上に影響（参政権運動の護身術）
- ・ イギリスのボーイスカウト運動に影響
- ・ インド ガンジーの非暴力運動で独立に影響を与える

午後から

体操

午前の講座を振り返り各班で協議し代表者が発表

地域交流

各地区SAの代表者より活動内容の説明と来年度の勧誘



地域交流SAの紹介